

会 議 録

1 会議名

令和3年度 三郷区地域協議会 公民館整備班会議

2 議題

(1) 意見書の作成について

3 開催日時

令和4年1月13日(木) 午後6時30分から午後7時18分まで

4 開催場所

三郷地区公民館 2階 集会室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

—

7 出席した者(傍聴人を除く)氏名(敬称略)

・委員：竹内浩行(会長)、伊藤善一(副会長)、保坂裕子(副会長)、
市村 学、伊藤光夫、荻戸 正、平田 清、山口典夫、
吉田一彦(欠席者なし)

・事務局：南部まちづくりセンター 堀川センター長、五十嵐主任

8 発言の内容(主な発言の要旨)

— 次第2協議(1)意見書の作成について —

【五十嵐主任】

意見書提出にあたり、今まで公民館整備班で協議してきた意見を基に、意見書(案)を事務局で作成した。不便を感じている場所を写真で示すという意見も踏まえて、作成したので写真についても考えてほしい。

この案に対して、追加や修正することについて皆さんで考えていきたい。また、意見書のスタイルについても協議いただきたい。

【竹内会長】

写真に穴の開いた集会室の壁も入れた方がよい。

【保坂副会長】

以前子どもの活動で開いてしまった穴を塞いでいる。現状なので入れた方がよい。

【五十嵐主任】

意見書の1ページ目から意見をうかがう。

事務局から確認である。「三郷地区町内会長協議会と三郷まちづくり振興会の連名で毎年要望書が提出されている」としたが実際に毎年要望されたのか、いつからか。アンケートの中に「10数年前から言い続けても」との声もあったがいつから提出されているのか。

【竹内会長】

毎年しているでもよい。3年は続けている。その前の町内会長協議会の流れからも。

【山口委員】

少なくとも連続して3年は続けている。

【竹内会長】

その前は町内会長連絡協議会の中でも出してなくはないと思う。

【堀川センター長】

まちづくり振興会はいつからできたのか。

【竹内会長】

令和元年度から。高齢者支援事業を地元におろしたときからである。連名でとなっているのであれば令和元年から。

【堀川センター長】

令和元年度から毎年とすることで、委員全員の了承を得る。

【竹内会長】

耐震強度不足が判明したのはわかったが、その後10年以上も改善がなかったの
で、その間に地区からの要望等も出ていたにも関わらず、行政の動きがなかったく
らいのことは入れてはどうか。そのあとから令和2年にとんでしまっている。令和

2年には、確かに雨漏りは直してもらったが、先ほどの話で町内会長連絡協議会の中では何回か要望書が出ていると思うが、10年余り全く動きがなかったのは確かであるのでその辺の文言を少し入れた方がいいという気がしたがいかがか。

【山口委員】

市の回答の中に網羅されていたので、言わなくてもよいのでは。

【竹内会長】

そこまで突っ込んで言わなくてよいか。

【山口委員】

突っ込んで言うのであれば、トイレの男女共用と併せて異臭、匂いがすごい。環境が悪く夏場がひどい。構造的な問題であるので。

【保坂副会長】

尿石が溜まっていて業者委託しないと採れないらしい。

【伊藤副会長】

夏場に悪臭がすると入れた方がよいということであるか。

【山口委員】

衛生面ということで付け加えた方がより具体的なのではないか。

【保坂副会長】

別紙のところに、区内唯一の公の集会施設であるというのは出ているが、1ページにそれだけ地域にとって大事な施設だということがあるといい。そういった大事な施設だが、耐震も改修されていないし施設の中もトイレとかいろいろなところに問題もある。でも、地域の団体が要望しても市は回答してくれなくて、非常に地域活動をするのに不便が生じている。

「新築されることを」をもう少し強い言葉はないか。

【伊藤副会長】

「新築すること」でどうか。

【保坂副会長】

強く要望しますとか。ご検討ではなく。

【平田清委員】

私も勝手に作ってみた。意見書というものがよくわからないので、どういった書きっぷりにするのがいいのか勝手に解釈してつくってみた。中身的にはこれとほぼ一緒であるが、認識不足もあった。審議の要旨ということで、ここに書かれている次の計画と中身的には全く同じ。箇条書き的に書いている。この協議会からの提案ということでどう決めるかという部分が最終的にはある。要は、今はトイレが男女共用ということで、公共施設としては問題がある。耐震基準を満たしていないということで、この建物自体は改築または新築する必要がある。40年経って経年劣化が進んでいる。また高齢者や障害者に対しても、配慮をした設計になっていない問題もあるということで、これを全部解消するにはやっぱり改築では難しいと考えられるので、このことから新築で「お願いします、提案します」というかたちに持っていくのがいいのかと思う。こんな作りはいかがか。

書き方やまとめ方について意見書のかたちがどういったのがいいのかわからなかったもので、勝手に自分の意見書という考え方でつくらせてもらった。

【保坂副会長】

内容的には同じ。

【平田清委員】

ほぼ同じであるが、言い回しというか言わんとすることをどう作るかだけの話であるのであくまでも参考にしてこちらの方で、まとめていただいているのではないかと思う。

新道など他の意見書も見たが、どうしても言いたいことを言おうとするので、いろんな肉付けをしてしまって、文書全体が大きくなって分かりにくいので、もう少し簡単にしてつくってみた。書きっぷりも「お願いいたします」というかたちなのか「うちは提案します」と強くいうのか、その辺も意見書はどのような立場なのかよくわからなかった。「お願いいたします」だと要望書のような感じもする。

【堀川センター長】

平田委員が言われるとおり、他の意見書だと肉付けしていってしまうので、まず結論を1枚目にそれを記載する。そして大義名分を掲げた上で、こんな状態でこんな状態だから、直すのが当たり前となるようコンパクトにした。

【平田清委員】

なのでこっちの書き方がいいのかなと思った。

【堀川センター長】

平田委員からいただいたのを、今抜けている地域協議会としてのまとめのところに活用させていただければと思う。

【山口委員】

やはり表題がガツンとこないと見ないと思う。

【保坂副会長】

行政が見れば「具体的な改善策が地域に示されておりません」なんて担当者が見ると驚くようなことが書かれている。

【竹内会長】

だからこの下から3行目の「早期改善を要望するとともに」は、後ろ向きにしてしまうので協議を重ねた結果はもう新築でなければいけないというところへ持っていった方がいいのではないかな。

【堀川センター長】

新築するにも時間がかかるので、まずは困っている部分を早くやらしてもらおうということである。

【平田清委員】

前にまとめてもらった中に、「新築まで時間がかかるのであれば不具合を解消できるところは解消してください」と文言が入っていた。入れようか迷った。それを、盛り込むことは簡単にできるのか。

【山口委員】

これは、新築に時間がかかるようであればトイレや照明の不具合などの問題は早期に改善するよう要望するという意見があった。それに代るものとして、「よってからの文言で、男女共用のトイレ」のところにそのようなが入っているからよいのではないかな。

【保坂副会長】

1 ページ目は新築だけにしておいて、地域協議会としてのまとめの中に「新築さ

れるまでの対応として男女共用トイレの改修や不具合箇所の改修をご検討くださるようお願いいたします」とし、気持ちとしての部分をここに置いて「あまり待てないから何とかして」というのは、ここでいいと思う。新築と言っていないながらそれまでの間というところが弱くなるので1ページ目は思いを書く。

【堀川センター長】

トイレなど修繕するにしても耐震補強工事をしなければいけないわけである。

【保坂副会長】

重なっていないから、直す必要がないと財政課に蹴られたようである。

【堀川センター長】

早期改善の部分を抜くか。書いておいた方がよいか。

【山口委員】

自分は書いた方がよいと思う。

【平田清委員】

もし、書くなら逆の順番にした方がいいと思う。

【竹内会長】

それもあると思う。議論を重ねた結果は、新築でないといけませんがこの問題もあるからそのへんも要望しますと。

【山口委員】

そこで新築に時間がかかるのであればということで早期改善という。

【平田清委員】

基本的に1枚目で言いたいことを全部完結しておかないといけないはずである。あとは後ろがどんな文章を書いているか見るか見ないかは、その人の判断である。ほとんど見ないと思う。

【山口委員】

新築を先にしてはどうか。

【堀川センター長】

では、新築を先にもってくる。

【保坂副会長】

ここの公民館は上越市立である。

【山口委員】

最後の地域協議会のまとめはいるか。審議の結果がこの意見書に表れていると思っている。さらに地域協議会のまとめとなるといかがか。

【堀川センター長】

このまとめは、地域協議会が取り組んできたいろいろな経過の流れを受けて、このかたちとなっている。言ってみれば班の総意なのかと思う。

【竹内会長】

他の意見書を見せてもらっているが、他地区の意見書にも裏にはこういったバックデータのものはついているのか。

【保坂副会長】

話し合いの中で市村委員より、意見書には言葉だけではなくデータもあるとよいのではという意見もあったのでいろいろつけて、言葉にはできないいろいろな思いも添付資料の中に入れられればと思っている。今までと違った雰囲気の見聞書になっている。

地域協議会としてのまとめは残しておいてほしいし、その中に平田清委員の中にも書いてあったが、公民館について10年以上も話をしているのに改善されないことへのやるせなさ、そういった生の声をここに書くことができる。意見書だと書きっぷりがあるのでなかなか肉付けが難しい。

【吉田委員】

町内会長との意見交換会で消防団の話が出た。隣接する消防小屋の問題も同時進行してもらいたいと言った意見もあった。今回はこれを要望して今後そういったものも入れてはどうか。

【保坂副会長】

そこまで地域協議会委員で消防小屋や消防団のことについて踏み込んで話ができているので、今回についてはその部分は頭に入れておかなければならないが書き示す部分については入れられない。

【伊藤光男委員】

三郷の中で唯一の公の施設なので「新築」という言葉を一枚目にしっかり入れてもらって、この案でよいと思う。

【市村委員】

1枚目はコンパクトにまとまっていてよい。文言はここで出た意見を修正してもらえればよいと思う。2枚目別紙関係は、ぱっと見てわかるように、文書だと読んでももらえないので平田委員が書いてくれたように箇条書きであんまり長々読まないかたちでよい。写真は実際に目にすると思うが、これはよりひどい状況で写真が撮れるとよい。多分知っている人はわかるが、市長が見て「この程度か」としか映らないかもしれない。和室の照明くらい、暗いと伝わるとよいが。

【伊藤副会長】

照明だけでなく、全体で映した方がよいのでは。

【山口委員】

屋根も悪い。塗装がとれている。

トイレは正面から写した方がよい。障害者トイレは写らなくてもよい。これが人権問題であるから。手摺の写真と集会室の壁も入れてほしい。

【竹内会長】

公民館主事が悪い訳ではない。当然、市に要望しているはずである。

【保坂副会長】

ポットも古くて使えないことから、まちづくり振興会のものを借りている。

【山口委員】

調理室へ渡っていく通路について、暗くて夜は使えない。そこも写してほしい。理由があって調理室を別棟にしたため電気もないはずである。

【五十嵐主任】

別紙については、また相談させていただきたいと思う。

【保坂副会長】

この後いただいた意見について相談し1月25日の協議会に提出したいと思う。

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。